

令和6年度 基本方針（案）

1 事務局体制等の整備強化

(1) 県センターとしての機能強化

- ア 運営基盤の整備に努め、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念に基づく様々な事業に対して、積極的に関与し指導者養成、スポーツ・レクリエーションの推進に努める。
- イ 日本協会の情報ネットワークシステムの活用を図り、事務の簡素化に努める。
- ウ 財政的に厳しい状況の中ではあるが、県民に対し県レク協会への理解を図り、公益事業と収益事業を明確にした運営を行う。
- エ 日本協会と連携を密にし、情報の収集、多方面の事業受託に努め、最新の情報や事業を加盟団体及び会員に提供する。
- オ 新潟県補助金、スポーツ振興くじ toto、子どもゆめ基金等の助成金を活用し事業の拡充に努める。
- カ 指導者支援や新規有資格者確保のため、講習会や研修会を可能な限り広範囲で開催する。（コミュニケーション・ワークセミナー、レク式体力チェック講習会、幼児・子どもの運動あそび指導者講習会、チャレンジ・ザ・ゲーム、チャレンジ・スポーツ講習会等）

(2) 専門委員会の活動充実

中学校部活動への対応を見据え、委員会組織の拡充や委員会活動の具体案を検討・作成する。
新潟県内の健康クラブの推進ならびに若手指導者の養成に努め指導者のサイクル化を図る。

2 新潟県スポーツ・レクリエーション大会の開催

一般市民を対象とした公益性の高い市民参加型事業を展開する。各市レク・種目別協会と連携し全体計画はもとより、各加盟団体のスポーツ・レクリエーション活動にも工夫・改善を加えるよう実行委員会から提案する。

- ・第32回大会は、10月5日(土)・6日(日) 柏崎市で開催する。

3 指導者養成事業の開設

(1) レクリエーション・インストラクター養成講座の開設

日本協会の指導者養成新カリキュラムに沿って、各加盟団体の協力を得てスポーツ系のレクリエーション・インストラクタースクールを開講する。併せて上越地区・中越地区で新たな指導者の養成・発掘を図る。

(2) 「健康スポレクセミナー」の開催

日本レクリエーション協会の委託事業として開催が予定されている健康スポレクセミナーへ、各団体からの積極的な参加を促す。

4 スポーツ・レクリエーション普及振興事業の実施

(1) 他団体との連携・協力事業

ア 全国一斉「あそびの日」キャンペーン事業

指定された期間に開催されるキャンペーンへ、加盟団体から積極的な参加が得られるよう呼びかける。

イ 子どもの体力向上推進事業

幼児・子どもの体力・運動能力向上に寄与する事業を新潟県補助金やゆめ基金、今年度から予定されている健康スポレクセミナーを活用して開催する。

ウ 新潟県レクリエーション協会考案・開発「レク式体力チェック」の普及・推進

幼児・子どもの運動（あそび）能力チェックを中心に普及・推進する。また、新プログラ

ムの充実に努める。

エ 新潟県少年自然の家との連携を深める。(スクールの開催)

オ (公財)新潟市開発公社、グリーン産業(株)、各種企業・団体との連携を深める。

カ 県内外のスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等、関係団体との連携を推進する。

キ アタック・ファイブの全国展開を目指して、千葉県レクリエーション協会と連携して普及指導員養成講習会と大会を開催する。

5 受諾事業の実施

日本協会、県、市町村、学校、民間等からの各種依頼については、指導者の派遣、事業受諾など多様な方法で可能な限り対応する。

6 指導者派遣事業

(1) 用具等を購入した団体等の要請に応じて、有資格者会員の協力を得ながら積極的に対応する。

また、要請団体へのサービスをねらいにホームページを活用した紹介ページの充実を図る。

(2) 人材発掘と指導者の資質向上をねらいに、可能な限り新たな有資格者を派遣する。

7 広報・広聴活動の充実

(1) 郵送費高騰の中、郵送費抑制を狙いに広報委員会報「レクにいがた」をHPにより紹介する。

併せてPC環境のない方には郵送にも対応する。

(2) ホームページを最大に活用し、県レク情報を全国へ発信する。(リンクを希望する団体を募集中)

8 有資格者支援事業の実施

(1) 日本協会からの資料情報等配布・提供をHPで行う。

(2) フォローアップセミナーを充実させ、有資格者の支援と新規有資格者の確保に努める。

9 団体の育成及び組織強化

(1) 地域協会の支援

退会する団体が続く市町村・種目別団体を支援し、レクリエーション活動の推進と強化を図り組織の拡大に努力する。

(2) 県内の未加盟種目団体・領域団体に加盟を働きかけ組織の拡大に努める。

(3) 「新潟県課程認定校連絡会」への再支援・再助成を行うように幹事に働きかける。

(4) 新規課程認定校獲得のため、日本協会と連携する。

(5) 県スポーツ・レクリエーション大会へ参加する団体に準備費を補助する。

10 新潟県新採用教員研修 会場；7/29・8/1 県立教育センター 上越市、魚沼市にて開催

11 ニュー・スポーツ(新種目)の考案、用具の開発と販売 普及活動

アタックファイブ(ストーン ポイントシート) 8面体サイコロ(イチロウくん・サイコロ・PKくん) 室内外用モルック 室内外用カップの開発・作成・販売

12 新潟県健康クラブ推進連絡会

本年度県内15カ所(3か所は toto 直接)で健康ひろばを開設することに伴い、クラブ間の格差が出ないよう指導者スタッフの連携を密にする。

1 会 議

第1回理事会は、令和6年5月19日(日)；に変更しビッグスワン（事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、32回柏崎大会、役員改選）

第2回は、令和7年3月23日(日)；未定(定例、事業計画・予算、その他)

その外、臨時理事会（必要に応じて開催）

通常総会は、5月19日(日)；未定（事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、第32記念大会、役員報告）加盟団体事務局会議は、令和7年3月23日(日)；未定

2 事 業

	事業名	期 日	会 場	予定人数	内 容
1	第32新潟県 スポーツ・ レクリエーション 大会	10月5（土） ～ 10月6（日）	柏崎市総合 体育館他	3,000	市民参加型事業を通して、県民の健康づくりに貢献し、生涯スポーツの振興と地域レクリエーション運動の活性化に資する。
2	スポ・レク スクール	9月21日～ 11月3日	柏崎市総合 体育館他	20	インストラクターの養成講座を開催し、レクリエーション運動の中核となる人材の育成を図る。
3	健康スポレク セミナー 幼児・児童 支援事業	未定	未定	300	幼児・子ども運動能力チェック・運動あそびを継続的に提供し、そのデータを提供保存する。
4	ゆめ基金	10月6日（日）	柏崎市	100	ゆめ夢基金を活用して実施する。
5	フォロー アップ セミナー	コミュニケーション・ワーク 各種スポーツ・レクリエーション 幼児運動	新潟市 柏崎市 上越市他	各30人	現実的な課題解決のため講演会・講習会を開催し、指導者を支援する中でサイクル化を図る。
6	課程認定校 交流集会	未定	未定		課程認定校学生が一同に会し、各学校の特色を活かしたレク活動と研修を行い交流を深める。
7	加盟団体 事務局会議	3月23日（日）	新潟市	40	日本協会の各種情報を伝達するとともに、お互いの情報交換を通して連携強化を図る。
9	セミナー クップ・モルック アタック・ファイブ 等各種講習 大会	別紙資料	新潟市 上越市 見附市 柏崎市	各30人	冬の新潟を前面に出して、日本海側初の全国大会を定着させたい。また、アタック・ファイブ、モルックも人気種目として定着しつつある。
10	受託事業	別紙資料	別紙		